



KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS RESEARCH INSTITUTE FOR JAPANESE TRADITIONAL MUSIC

2026.

2.15 日

10:30~17:00

(途中昼休憩等を含む)

聴講無料

事前申込必要

定員 30 名

※ 未就学児童の入場は
ご遠慮ください。

2023年、近代芸能史の先人である倉田喜弘氏の
膨大な著作や資料が、日本伝統音楽研究センター
に寄託されました。

倉田氏の先駆的業績に敬意と感謝を表して、寄託
された資料をもとに、各分野の専門家の視点から
さまざまな形で紹介いたします。

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
細川周平所長退任記念シンポジウム

細かさの 偉大さ

近代芸能史研究家
倉田喜弘の仕事

会場 京都市立芸術大学
伝音セミナールーム

京都市下京区下之町57-1



応募方法

WEB申込のみ
〈先着順〉

2026年1月20日(火)10:00~申込受付開始

下記の案内ページに設置する専用申込フォームよりお申し込みください。

※ 開催日の1週間前を目処に受付を終了します。(ただし定員に達した場合はその時点で受付を終了)

https://www.kcua.ac.jp/20260215_denon_hosokawa



企画 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター <https://rijtm.kcua.ac.jp>

主催 京都市立芸術大学 <https://www.kcua.ac.jp>

問合せ 京都市立芸術大学事務局 共創テラス・連携推進課

TEL 075-585-2006 (平日 8:30~17:15) E-mail public@kcua.ac.jp

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts



10:30～ 第1部 倉田喜弘コレクションの概要

- スクラップ帳から築く大きな歴史
細川 周平（日本伝統音楽研究センター所長）
- 倉田資料〈細かさ〉の概要
ー 日本伝統音楽研究センター委託研究から ー
竹内 有一（日本伝統音楽研究センター教授）
神津 武男（日本伝統音楽研究センター客員研究員）
小西 志保（日本伝統音楽研究センター共同研究員）
- 愛読書・日本レコード文化史
毛利 真人（日本伝統音楽研究センター客員研究員）

～ 昼休憩（1時間程度）～

13:00頃～ 第2部 近代芸能史の確定

- 「大東亜」レコード文化史の系譜 ー 倉田喜弘、小泉文夫、細川周平 ー
鈴木 聖子（大阪大学大学院人文学研究科准教授）
- 近代能楽史と倉田『明治の能楽』『大正の能楽』の読み方
中尾 薫（大阪大学大学院人文学研究科教授）
- 倉田喜弘と都市の文化史
齋藤 桂（日本伝統音楽研究センター准教授）
- 川上音二郎の表象 ー 倉田以前・倉田以後 ー
土田 牧子（東京藝術大学音楽学部准教授）

～ 休憩 ～

15:00頃～ 第3部 三味線音楽の刷新

- はうた・三味線音楽・倉田
竹内 有一（日本伝統音楽研究センター教授）
- 〈実演付き〉♪端唄あれこれ ー 時代の息吹を嗅ぐ ー
重森 三果（邦楽家）

全体のまとめ～討論会～

〈話題提供者〉輪島 裕介（大阪大学大学院文学研究科教授）

*都合により内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

細川 周平 ほそかわ しゅうへい

1955年大阪生まれ。1988年東京藝術大学音楽研究科博士課程修了、人文博士号を取得。1996年より東京工業大学社会理工学助教授を経て2004年より国際日本文化研究センターに所属（2020年同センター名誉教授）。その間、ミシガン大学（アメリカ）など海外でも日本文化について授業・講演を行ってきた。2022年より本学日本伝統音楽研究センター所長。

主な著書、編著に、『近代日本の音楽百年』（2020年／岩波書店（全4巻）、芸術選奨・文部科学大臣賞評論等部門受賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞ポピュラー部門受賞）、『日系ブラジル移民文学ー日本語の長い旅』（2012年／みすず書房、全2巻）、『遠きにありてつくるものー日系ブラジル人の思い・ことば・芸能』（2008年／みすず書房、読売文学賞研究評論部門受賞）など多数。日本ポピュラー音楽学会員。



倉田喜弘氏の
研究資料 “倉田資料”について

倉田喜弘氏が遺された膨大な著作と資料は、2023年に京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターが倉田氏の御遺族から「寄託」というかたちで一時的にお預かりし、2023年度からの2年間の委託研究として仮目録の作成など資料の整理を行いました。今後は、当センターと他大学の研究機関との連携のもと、資料の保存・デジタル化を進める予定です。



倉田 喜弘 くらた よしひろ

1931年大阪生まれ。NHK在職中に芸能番組等の制作に貢献。レコードと新聞を学術資料として扱った第一人者で、『日本レコード文化史』、岩波文庫『江戸端唄集』『近代はやり唄集』、国立劇場資料集の編纂など、近世・近代音楽の業績多数。夫人は端唄根岸流の根岸登喜子。2022年没。

会場 京都市立芸術大学
伝音セミナールーム

京都市下京区下之町57-1 A棟1階

- ・地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車、JR京都駅中央口から徒歩6分
- ・京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
- ・市バス4・7・16・81・205・南5号系統「塩小路 高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ



◇ 構内に駐車場はございません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場願います。

◇ ご来場方法や座席等について特別な配慮を必要とされる方は、開催日の5日前までに共創テラス・連携推進課までご相談ください。
ご希望に沿うよう可能な限り対応いたします。